

農地法第5条第1項の規定による許可申請書

令和 4年 4月 1日

鹿児島市農業委員会会長 殿

譲受人・借人 山下 太郎

譲渡人・貸人 山下 花子

下記により転用のため、農地（採草放牧地）の権利を設定、移転したいので、農地法第5条第1項の規定により許可を申請します。

1 当事者の氏名 住所及び職業	当事者の別	氏 名			住 所					
	譲受人 (借人)	山下 太郎			市 町 1 2 3 番地 4 5					
	譲渡人 (貸人)	山下 花子			××市 町 9 8 7 番地 6 5					
(代理人) 行政書士のみ	氏 名	資 格	登 録 番 号	所 在 地						
	山 田 一 郎	行政書士	1 2 3 4 5 6	××市 町 4 5 6 7 番地 8 9						
2 許可を受けよ うとする土地 の所在、地目 面積、利用状 況、普通収穫 高及び耕作者 の氏名	土 地 の 所 在			地 目		面積 (㎡)	所有権以外の使用収益権が設定 されている場合		市街化区域・市街 化調整区域・その 他の区域の別	
	市	町	字	地 番	登記簿		現況	権利の 種類		権利者の氏名 又は名称
	鹿児島市	町		1 2 5 - 7	田	畑	3 5 7		市街化調整区域	
	鹿児島市	町		1 2 5 - 8	田	畑	2 5 7 のうち 1 6		市街化調整区域	
	以下	余 白								
計 6 1 4 のうち 3 7 3 ㎡ (田 ㎡ , 畑 6 1 4 のうち 3 7 3 ㎡ , 採草放牧地 ㎡)										
3 転用計画	(1) 転用の目的	① 一般住宅 2 農家住宅 3 山 林 4 その他 ()			(2) 権利を設定し、 又は移転しよ うとする事由 の詳細		借家住まいであり、自己の住宅を建設するた め 農地を転用するに至った事由やその必要性 について具体的に記入。			
	(3) 事業の操業期間又は 施設の利用期間	令和 年 月 から 年間 許可後永久 一時転用の場合(例)：令和4年7月から1年間(令和5年6月30日まで)								
	(4) 転用の時期 及び転用の 目的に係る 事業又は施 設の概要	工事計画	第1期(着工 元年 7月から 元年 12月)			第2期(着工 年 月 から 年 月)			合 計	
			名 称	棟数	㎡ 建築面積	㎡ 所要面積	棟数	㎡ 建築面積	㎡ 所要面積	棟数
	土地造成				420					420
	建築物	一般住宅	1	107.31				1	107.31	
	工作物									
	植 林	杉	500本		600					
	計		1	107.31	420			1	107.31	420
4 権利を移転し、 又は設定しよ うとする契約の 内容	申請に係る権利の内容	① 所有権移転 2 賃借権設定 3 使用貸借権設定 4 その他 ()								
	1 権利を移転し、又は設定しようとする時期	年 月 日			売買若しくは贈与の別を記入					
	2 対価	1,700,000 円			3 賃借料等の給付の種類及び額					
	4 契約期間	年 月 日から 年 月 日								
5 資金調達計画 調達方法を 具体的に記入	土地取得費	1,700,000円			住宅金融公庫 9,000,000円					
	建築費	12,000,000円			自己資金 3,850,000円					
	造成費	500,000円			計 12,850,000円					
	計	12,850,000円								
6 転用すること によって生ず る付近の土地 作物、家畜等 の被害の防除 施設の概要	・東側...市道、西側...他人畑、南側...本人畑、北側...宅地。 ・境界は東・西・北側はブロック積、南側は土羽とし、周辺に被害を及ぼさないようにする。 ・雨水は東側の市道側溝へ流出する。 ・汚水は合併浄化槽にする。 具体的にどのような被害防除を講ずるのかを記入する。									
	・隣接する山林(町125-6、47㎡)と一体のものとして利用します。(合計面積 420㎡) 転用にあつては他の法令等の許可等が必要である場合、その手続状況等を記入。 (例)都市計画法第29条の開発許可申請済 農用地区域からの除外申請済 代替地検討結果を記載してください。(第3種農地以外)									
7 その他参考と なるべき事項										